

遊文通信

vol.02

MUD（ユニバーサルデザイン）って何だろう？

近頃ユニバーサルデザインなる言葉を耳にする機会が増えました。

私たち印刷業界でもユニバーサルデザインの波がゆっくりと押し寄せて来ています。大阪という土壌はそういった新しい波が入ってくるのは比較的遅いように思われますが、今後確実にやってくることは明白です。

遊文舎でも3年ほど前から、勉強会などを始めており、コンテスト参加など今後押し寄せる大きな波に備えています。

「東京では常識ですよ！」などの声にあせりは感じますが、地道にコツコツ取り組んでいきたいと考えています。

「ユニバーサルデザインとはすべての人にとって、できる限り利用可能であるように、製品・建物・環境をデザインすることであり、デザイン変更や特別仕様のデザインが必要なものであってはならない」と定義されています。

では印刷業にとってのユニバーサルデザインって……、と考えると、一番に頭によぎるのは色の問題です。色覚異常（い

わゆる色盲・色弱）の方々でも区別のつく配色。たとえば色分けされた価格表。つぎに年配の方々への配慮です。白内障を患った方などは文字がはっきりと見えないそうです。また、難しい漢字なども対象になってくることでしょう。

専用のフォントも各メーカーからリリースされています。文字の懐（ふところ）を大きめに設計し、かなも大きめにデザインされ、文字がダンゴに見えないように工夫されています。

最近、私たちの周りの工業製品にも多く使われています。たとえば家電品のボタン・スイッチ類なんかを見ても使いやすさを考えて設計されたものが多いようです。表示されている文字が大きめであったり、ボタンそのものが大きく作られていたり……。確実にユニバーサルデザインが私たちの周りに浸透してきています。

ユニバーサルデザインには7つの原則があり、以下のように定義されています。

- 原則1：誰にでも公平に利用できること
- 原則2：使う上で自由度が高いこと
- 原則3：使い方が簡単ですぐわかること
- 原則4：必要な情報がすぐに理解できること
- 原則5：うっかりミスや危険につながらないデザインであること
- 原則6：無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に使用できること
- 原則7：アクセスしやすいスペースと大きさを確保すること

これらのユニバーサルデザイン7原則は、「誰にでも利用可能なデザイン」という視点を中心に、できるだけ多くの人達の要求に対応できるような理想的なデザインを目指すにあたっての、デザイナーへの指針となっています。しかし、実際にデザイナーがデザインをする過程では、経済性や、技術的条件、文化的要件、男女差や環境への影響など、関連す

る諸条件も考慮に入れなければならないのです。

どうでしょうか？ 中々ハードルが高いと思いませんか？

私たちは「小さなことからコツコツと」を念頭に、今後も積極的に取り組んでいきたいと思っています。

メディア・ユニバーサルデザインコンペティション 「大阪のここがええねん」

審査委員長特別賞 受賞しました

2010年5月22日、大阪府印刷工業組合・MUDグランプリ実行委員会主催の「第一回メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」において、遊文舎デザイナーの作品が、審査委員長特別賞に選ばれました。



twitter

最短
3時間
で印刷！
バズール

@sugusurucom

http://twitter.com/sugusurucom

栄光の 架け橋

第2回

第2回は大阪学校生活協同組合に伺いました。

長身でお洒落な総務部松田部長にお話をお聞きしました。



——大阪学校生活協同組合（以下学校生協）についてお聞きしたいのですが

大阪府内全域の教職員の方々の出資と利用により、安全かつ安心の商品を学校生協価格でお届けしています。

——なるほど、組合員になるとどんなメリットがあるのですか？

学校生協の営む全事業を組合員価格で利用でき、全国規模の共同仕入のため、各種類の中から良質・安価なものが選べます。商品は勤務先または自宅に配送されます。

——ところで聞きにくいのですが、遊文舎の印象はいかがですか？

指定商社に入ってもらい、印刷物のお手伝いを長年お願いしています。業務内容を理解してもらっているので「仕事ははやい」ですね～。

——有難うございます。みなさん活気があり、明るい職場づくりを我々も見習いたいですよ。

昨年創立50周年を迎え、今年3月にここ（東成区神路）に移転して来ました。職員一同はりきって仕事をしています。

——最後に何かありますか？

生協は「1人は万人のために万人は1人のために」という基本精神のもとに、今後も組合員の方及びご家族が安心できる生活設計を立てられるよう、さらなる生活向上を目指して取り組んでいきます。

（聞き手：こんちゃん）



学校生協会館

印刷あれこれ 第2話 ブックフェアで表彰されました。

遊文舎で制作・印刷した大阪大学出版会様の『フランスの子ども絵本史』が、「第44回造本装幀コンクール」で「日本図書館協会賞」を受賞しました。7月7日～10日、東京ビッグサイトで開催された「東京国際ブックフェア2010」で公開展示され、遊文舎からも5名が授賞式に参加しました。

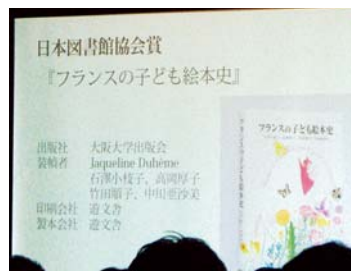
受賞作品は本当に優れた本ばかりで、アイデア、デザインなどどれをとってもレベルの高さに驚きました。これらを見ると本づくりに関わる人ならば誰でも必ず啓発されることと思います。

コンクールにかける心意気や、ある意味採算度外視でとにかくよい物を作りたいという気持ちがあふれ出ていて、そんな人や作品から発せられる言葉やオーラからは刺激を受け、今後もこのような賞をいただけるような仕事ができるよう日々精進していきたいと思いました。

受賞作はすべて「フランクフルトブックフェア」で展示されたのち、来年2月ドイツ・ライプチヒでの「世界で最も美しい本展」で審査を受けることになっています。そこまで、夢のような虹の架橋を楽しもうとワクワクです。

ちなみに、「第44回造本装幀コンクール」の審査委員長はアタックチャンスの児玉清さんでした。テレビで見る以上にとっても素敵なお方でした。

（デザイン担当／石田）



今月の 一押し本



映画「告白」がブレイクしているような。「娘を殺された母親の復讐」がことさらに強調されているようですが、原作が訴えたかったのは、「犯罪者」と「犯罪被害者」の単純な対立構造ではなく、むしろ「傍観者」にあったように思いました。（あんまり書くとネタばれるため、このあたりで）

「告白」の対極にある、ハッピー（？）エンドの爽やかな感動ヒューマン小説を発見しました！ 柚月裕子『最後の証人』

ホテルの1室で見つかる死体。全ての状況が被告人が犯人と指し示す中、ただ一人被告無罪を主張するヤメ検弁護士（主人公）。果たして真実は……！

ラスト30頁で解き明かされる謎と真実、読後のなんともいえぬ爽やかな感動。

絶対おすすめです！

（キパノスケ）



だーくんの 趣味を語れよ！

Level.2

僕、『だーくん』の趣味はゲーム。

と、言うわけで、今までに夢中になったゲームの思い出なんかをなんとはなしに書いていこうと思います。

というわけで、第2回です。

ありがとうございます。

今回、紹介するソフトはこれです。

そう、知る人ぞ知る超難解ソフト。

「魔界村」です。



まあ一言でいうとこのソフト、激ムズです。全クリできるとレベルじゃないですね。1面クリアするのに何時間かかったか覚えていません。しかもラスボスを倒しても、出ました、2週制度。さすがにコントローラーを置きますよね。ゲームで初めて挫折を覚えた苦渋の思い出です。

スーファミでも、「超魔界村」が発売されました。大概のソフトは新作やハードが変わって出ると、難易度は若干下がっているものなのですが、さすが魔界村。妥協しませんね。その難易度たるや、コントローラーをかなりの勢いで放り投げましたね。

最近のゲームはぬるい、といわれるのはこのゲームのせいかもしれないですね。

Crossword Puzzle

Vol.1
の答え

①ナ	ガ	②シ	③マ	④シ	⑤ゲ	⑥オ
リ		⑧シ	ホ	ン		ウ
⑦ア	⑧テ		ウ		⑨ツ	エ
⑩ガ	ラ	ス	⑪ノ	⑪カ	メ	ン
⑫リ	ロ		⑬ラ	ク		ダ
⑭モ	⑮ツ	⑮カ	ン		⑮カ	ン
⑰ノ	サ	⑮ツ	⑮ブ	ミ	⑮サ	キ

ワールドカップ日本代表よくやった！



スペインの優勝で幕を閉じたワールドカップ。結果的には優勝候補のスペインが勝ち、順当な締めくくりであったが、フランス・イタリアの予選トーナメント敗退等、今回もいろいろ波乱が起きた。なかでも私が思う最大の波乱は日本代表の決勝トーナメント進出だった。大会が始まる前は、本当に3戦全敗すると思っていたし、全くと言っていいほど期待が持てなかったからだ。ところが蓋を開けてみると予選リーグを2勝1敗（文句なしの成績！）で見事に決勝トーナメント進出を果たした。カメルーン戦の勝利で涙し、オランダ戦の惜敗で次の決戦に燃え、デンマーク戦の勝利で優勝したかのよう

に歓喜した。どの試合も祈るような気持ちで見えていたが、特に初戦のカメルーン戦は4年前の悪夢を思い出して、まともに見られなかったこともあり、勝利した瞬間、感極まって泣いてしまった。予選リーグ全3試合を通じ、日本代表はほとんどのサッカーファンを見事に裏切ってくれた。確かに見ていておもしろいサッカーではなかったけれども、勝利がこんなにうれしいものであれば何でもOKだ。決勝トーナメント1回戦でパラグアイに負けはしたが、こんなに楽しいワールドカップは初めてだった。ありがとう、ほんとによくやった日本代表！

（覆面ライター W）

真っ盛りの
スタッフシリーズ

おのちゃんがイク!! vol.2

彼のニックネームは「おのちゃん」。う～ん、これしかないという感じ。
この業界に転職するまでは、様々な営業経験を持つ異色の印刷営業マンである。
守口市が生んだスーパー営業マン「おのちゃん」をあらゆる角度から分析し、
まだ誰にも知られていない、また誰も知りたくはない彼の素顔に迫ろう…。

おのちゃんの営業スタイルは熱血!!…?みたいな感じだ。

クライアントからの要望には常にフルスイングで応え、時にそれがホームランになり大絶賛を浴びる(本人談)。…だが、ここは手堅くバントで送る…的な場面でも常にフルスイングはちょっと…。

印刷の仕事は校了間近(～原稿 OK です、これで刷ってください～のちょっと前くらい)が特にバタバタする。クライアント様もピリピリされている。そこは流石のおのちゃん、細かい電話のやりとりでイラつくクライアント様をフルスイングでシャウト気味になだめる。「いいですか、落ち着いて、落ち着いて下さい。一旦白紙に戻しましょう、いいですか。落ち着いて下さい!!」……まずはおのちゃん、君が落ち着こうではないか。大丈夫だ、おのちゃん。…お客様は冷静だ。

今年も阪神優勝を願い、FIFA ワールドカップ 2010 では、にわかファンぶりを遺憾なく発揮し、終電の時刻ギリギリまで見送りや原稿整理に追われ、時にはカプセルホテル泊まり…。

おのちゃん、君は北大阪急行で現れ、淀川区に勤務し、市内を奔走するスーパー営業マンだ!

さあ、明日へ向かってホームスチールだ!!～

アウトおお!!

きょう、阪神
勝つかなあ～

遊文舎 企画営業部
小野 健一 (34 歳)

次回
予告

真っ盛りのスタッフシリーズ

おのちゃんがイク!! vol.3

次回は「おのちゃん語録」(予定)

内容はやむを得ず変更になる場合がございます。ご了承ください。

(記: こんちゃん)

遊文舎がお届けする超特急印刷サービス

最短
3時間
で印刷!

すぐスール

.com

すぐスール 検索 <http://www.sugusu-ru.com/>

すぐスールとは株式会社 遊文舎がお届けする即日印刷・納品サービスです。
13時までに入稿頂ければその日のうちにお客様のもとへ商品をお届けいたします。至急印刷でお困りの方、是非ご利用下さい! もちろん、デザイン等各種オプションも充実しております。お気軽にご相談下さい。
※デザイン等、オプションによっては即日対応が出来ない場合がございます。詳細はお問合せ下さい。

お問い合わせ・ご相談はこちら

電話 **0120-132394** 受付時間 平日 9:00～18:00 (土日・祝日、年末年始を除く)
E-mail sugusu-ru@yubun.co.jp

カタログできました!!!!

制作メンバーとすぐスールプロジェクトチームが一生懸命がんばって作りました。途中何度もやりかえたためついぶん時間がかかりましたが、本当に良いカタログに仕上がりました。お気軽にお取り寄せください。



編 集 後 記

第2回のNews Letterも何とか発行出来ました^ ^

今までの遊文舎にない面をチラッと見せする事が出来ていますでしょうか?

「明るく、楽しく、新しい遊文舎」をこれからも発信していきたいと思います。ご意見、ご要望等
ドシドシお寄せくださいませ～。

次回、
News Letter
Vol.3を
おたのしみに!

(Dandy)

